

2015年

3月6日(金)から4月22日(水)まで

10時から21時まで

会期中無休 入場無料

会場 無印良品 有楽町 ATELIER MUJI

<http://www.muji.net/lab/ateliermuji/>

「ベンガルの たなごころ カンタ 彼女たちの 針仕事」展



ATELIER MUJI

「ベンガルのたなごころ カンタ 彼女たちの針仕事」展

2015年3月6日(金) — 4月22日(水) 10:00 — 21:00

会期中無休 入場無料 会場 無印良品 有楽町 ATELIER MUJI

お問い合わせ <http://www.muji.net/lab/ateliermuji/>

日本には、手に心が宿る「たなごころ」という言葉があります。心をこめた伝統的な手仕事が成熟したその先には、何があるのか。色あせることなく、時間が味方するものづくりやデザインとは。ベンガル地方のファブリックに見る、暮らしを彩る手仕事の豊かな世界を展覧会で紹介します。

ベンガル地方の女性たちは、古くは自分や家族のため、現在では産業や民族の誇りを守るために伝統的な針仕事に携わっています。カンタは、古くから伝わるベンガル地方の刺し子です。使い古したサリーなどの布を何枚か重ね合わせ、針と糸で細かい文様や絵柄を思い思いに描きます。この地域の習慣により、女性たちは自由な

外出や行動を制限されていましたが、発想はどこまでも自由でした。これらの布は作り手の手を離れてもなお、時間や地域を越えて私たちを愉しませてくれます。使い手の倅せを願い、手間ひまをおしまない女性たちの生活の時間の中で作られた、一枚の布に描かれた世界。まるで私たちを見知らぬ物語へ誘う窓のようです。

本展では、1970年代から現地に足をはこび、一枚一枚収集された岩立フォークテキスタイルミュージアムの貴重なコレクションの中から、時を経てますます輝きを増す手仕事に込められた祈りや想い、倅せを感じさせるカンタを展示します。

ATELIER MUJI

関連イベント | 参加無料

[会場] 無印良品 有楽町 ATELIER MUJI

会期中は、ベンガル地方のカンタに纏わる、暮らしを彩る手仕事の豊かさを語るトークイベントや岩立フォークテキスタイルミュージアムの学芸員によるギャラリートークを開催致します。

イベントへの参加は無料ですが、事前のご予約が必要です。ご予約はアトリエムジ公式サイトにて承ります。
(なお、ご予約は満員になり次第終了致します。) <http://www.muji.net/lab/ateliermuji/>

トークイベント カンタ 刺し子で描く心の詩^{うた}

日程 —— 2015年3月11日[水]13:30-14:30(受付:13:00-) 登壇者 —— 岩立広子(染織工芸研究、収集家) 定員 —— 60名(要事前予約)

カンタは、ベンガル地方の女性から発祥した刺し子、手刺繍です。

その魅力は、文様や技術のみならず、暮らしを営む生活者としての様々な視点や智恵、

そして伸びやかな創造性が込められています。その魅力や背景を、現地でひとつひとつ蒐集された

コレクターであり、本展に作品をご協力いただいたインド染織の第一人者、

岩立フォークテキスタイルミュージアムの岩立広子さんにお話しいただきます。

※当日の天候や登壇者の体調不良等の理由によりイベントが中止になる場合がございます。イベントの変更がある場合にはアトリエムジ公式にてご案内致しますので、応募前やイベント前に必ずご確認ください。

トークイベント 暮らしに生きるカンター人と技

日程 —— 2015年3月18日[水]13:30-15:00(受付:13:00-) 登壇者 —— 五十嵐理奈(福岡アジア美術館 学芸員) 定員 —— 60名(要事前予約)

自由で楽しそうな文様が色鮮やかに刺繍されたカンタ。いったいどんな女性が、いつ、どこで、どうやって作っていたのでしょうか？

どんな道具や刺繍糸、布で？ 長い時間をかけてできあがったカンタは、ベンガルの人々の暮らしのなかで、

どのように使われてきたのでしょうか？ カンタの文様や色使いの意味を読みとकिながら、

カンタに秘められた布と人の関わり、その歴史の変遷をお話します。

ギャラリートーク

日程 —— 2015年3月25日[水]18:30-19:00(受付:18:15-) 定員 —— 20名(要事前予約)

岩立フォークテキスタイルミュージアムの学芸員 廣田蘭子さんによる展示解説。